

令和4年度 里庄地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

里庄町は、岡山県の南西部に位置し、温暖な気候で農業生産に適しているが、一方で山陽本線、国道2号線等の主要幹線が東西に横切り、近年では、小規模な住宅団地開発が進んでいる。

このような環境の中で、本町の農業は、農家1戸あたりの耕地面積が小さく、基盤整備もなされていないため、兼業率が高く、生産性や品質面で解決すべき課題が多いことから、農業生産額は、減少傾向にある。

転作作物の作付け及び定着には、不利な条件下にあり、自己保全管理等が多い中で、収益性の高い作物の作付けを促進することで、農業経営の安定と良好な水田面積の維持を図る必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

マコモタケは水稻と栽培方法が似ており、水稻に比べて手間がかからず、収入の増加も見込め、稲作から転作しやすい作物であり、町特産品としての認知度が高まりつつある作物であることから継続する。また、坊ちゃんかぼちゃは条件の悪い田で栽培できる収益性の高い作物であり、引き続き振興していくことから継続する。

水田収益力強化ビジョンにおける交付単価については、上げる検討もしているが、制度周知方法を拡充する計画であり、様子を見るため継続する。目標値については、規模の大きい兼業農家の離農があったことと、高齢化に伴うリタイヤによる減少分を勘案し、昨年度実績値を概ね維持するように設定する。目標年限については、令和4年度以降も引き続き支援していく。具体的要件については、継続する。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当町の農業は、1戸あたりの経営農地面積が狭小であり、基幹作物は稲作となっている。しかし、高齢化や農業後継者不足による生産活動の停滞や耕作放棄地の増加が進んでいる。

そうした中、米と同じイネ科の作物であるマコモタケや、価格が安定している坊ちゃんかぼちゃ等、高収益作物の導入を促進し、耕作放棄地解消に努めている。

今後は、稲作に力を入れたい生産者もいるので、市場評価が高く収穫量が多い品種を中心とした米作りを進めつつ、ブロックローテーションにより、水田での栽培可能なマコモタケや、坊ちゃんかぼちゃ等、当町の実情に合わせた営農体系の確立及び高収益作物の産地化を推進していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

市場ニーズを踏まえた売れる米作りを基本に、家庭用・業務用等の需要や価格条件に応じた米の生産・販売に取り組む。家庭用については、基本技術の励行により良質な米の安定供給を行う。また、推奨品種のヒノヒカリ、市場評価の高い朝日米、収穫量の多いアケボノ等特色のある米作りを進めるとともに「地産地消」を推進し、需要に応じた安定供給を図ることにより良好な水田環境を保全する。

(2) 大豆、飼料作物

大豆については、大規模な農家は無く零細農家で栽培されており、機械化もなされておらず生産効率は良くない。そのため自家消費用としての作付けが中心で、販売は農協直売所のみでされている状況である。

飼料作物については、畜産農家が牛の自家用飼料として栽培しており、作付面積はほぼ一定となっている。

今後も転作作物として位置付け、推進にあたっては戦略作物助成を活用する。

(3) 高収益作物（園芸作物等）

比較的価格が安定している作物であり、里庄町の気候にも合っている坊ちゃんかぼちゃとマコモタケを振興品目として位置付け作付面積を拡大する。

(ア) 坊ちゃんかぼちゃ

核家族や単身者の増加により、少量で食べきれぬ野菜を求める声が強くなっており、今後需要の増加が見込める状況であり、里庄の気候にも合っている。

平成18年頃から作付けされたが、生産出荷設備の整備、販売先の確保等多くの課題を抱えている状況であるが、大阪市場や加工業者への出荷といった生産者と関係機関が一体となった取組を継続し、産地の確立と拡大を図る。

(イ) マコモタケ

地域の課題となっている耕作放棄地の解消の切り札と、町の特産品作りに取り組むため、生産者・農協・各種団体及び行政が連携し、農協の直売所や道の駅、町内の飲食店での販売を本格化しており、生産者だけでなく学校や飲食店、地域住民、町外の人、行政を巻き込んだ活動となって地域で盛り上がりが見られる。

昨今、食と農の距離が拡大している状況の中、マコモタケの田植えから収穫・出荷に至るまでの様々な体験活動の場を提供したり、学校給食で使用する等、食育や地産地消の推進に関する活動にも活用している。

里庄町を代表する農産品として、普及させるため県内イベントに参加する等のアピールも活発に行っている。

良好な水田環境を維持するためにも水稻以外としては、最も適した作物と考えており、今後も取組を継続し、産地の確立と拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	31.00		31.00		31.00	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆	0.43		0.43		0.43	
飼料作物	0.23		0.23		0.23	
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	10.54		10.55		10.55	
・野菜	7.45		7.46		7.46	
マコモタケ	2.01		2.02		2.02	
坊ちゃんかぼちゃ	0.13		0.13		0.13	
・花き・花木	0.45		0.45		0.45	
・果樹	2.64		2.64		2.64	
・その他の高収益作物						
その他						
・						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	マコモタケ	地域振興作物に 対する助成	作付面積	（令和3年度） 1. 8 8 ha	（令和5年度） 2. 0 4 ha
1	坊ちゃんかぼちゃ	地域振興作物に 対する助成	作付面積	（令和3年度） 0. 1 3 ha	（令和5年度） 0. 1 3 ha

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:岡山県

協議会名:里庄町地域農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	地域振興作物に対する助成	1	20,740	まこもたけ・坊ちゃんかぼちゃ	助成対象作物を出荷・販売目的で生産する農業者を対象とする